

Information

法人・事業所の幹部及び役職者をめ指す正職員、急募！

- 【仕 事】 障害福祉総合職
支援業務、職員教育、授産事業の営業・生産管理、法人・事業所の運営に係る業務全般
- 【勤 務】 配属の事業所による。基本は7時～18時の内、連続した8時間（休憩1時間を除く）
- 【休 日】 配属の事業所による。基本は週休2日
- 【給 与】 初任給 月給192,000円～ 勤務評価により昇給
年収 リーダー360万円以上、チーフ400万円以上、マネージャー460万円以上
法人幹部500万円以上
- 【待 遇】 賞与（年3回）、社会保険、退職共済、労働保険、雇用保険、資格手当、役職手当

パート職員の生活支援員、職業指導員も併せて募集中！

- 【仕 事】 就労継続支援B型の生活支援員、職業指導員
具体的な仕事は配属の事業所の授産内容によって異なる
- 【勤 務】 配属の事業所による。基本は8時～17時 7時間以下
- 【休 日】 配属の事業所による。基本は週休2日
- 【給 料】 時給1,200円～1,400円 勤務評価による
- 【待 遇】 寸志（年3回）、各種保険等の加入は契約の勤務時間による
勤務成績等により正職員への登用のチャンスあり

意欲的な人、前向きな人、積極性のある人、実行力のある人、好奇心に溢れている人、社会経験豊富な人、そして、常識のある人を山脈は求めています！

令和7年度賛助会員受付中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口 2,000 円で何口でもかまいません。皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000 円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発 行 特定非営利活動法人 山 脈 理事長 笹澤 賢一

住 所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2

電 話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運 営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」
就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」
就労継続支援B型事業所「キッチンハウスみやま」
グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・5号・6号

（文責：笹澤賢一）

NPO

法人

山脈ニュース

2025.12

No.269

第49次きょうされん国会請願署名・募金運動が始まりました！

今年もきょうされんの国会請願署名の季節がやってきました。きょうされんでは発足時より毎年、障害福祉についての法制度の拡充を求める国会請願署名に取り組んでおり、今回で49次の国会請願署名になります。

今、多くの障害のある人たちとその支援者の人たちは、待ったなしの危機的な状況に置かれています。

長引く物価高騰は、障害基礎年金や生活保護で暮らしている障害のある人たちに非常に切り詰めた生活を強いていて、まさに生きることを脅かしています。そして、障害のある人たちを支える障害福祉の現場では、職員不足が深刻化し十分な支援水準が確保できず、障害福祉サービスの質と量の低下を招いています。

きょうされんでは、国会請願署名を通じ、障害のある人が安心して生活できるよう障害年金の増額、そして、障害のある人が十分な支援を受けられるように職員不足の最大の要因である低賃金を改善するため報酬の大幅な引き上げなどを国に求めます。

障害福祉事業所及び団体の皆様・国会請願署名に協力をお願いします

昨年、優生保護法裁判における最高裁の「勝訴判決」、そして、国と訴訟団等の「基本合意」、国会の「謝罪決議」と「補償法」の成立は日本の社会保障・障害施策史上かつてない意義をもつものでした。また、「勝訴判決」は優生保護法の被害者の人たちの人権回復・補償だけでなく、優生思想による偏見差別の根絶への大きな第一歩となりました。

優生保護法問題については、他の障害団体とともにきょうされんも取り組み、国会請願署名の項目に掲げてきました。この「勝訴判決」はきょうされんの国会請願署名運動の成果のひとつとも言えます。きょうされんは、障害のある人に寄り添い、その声を代弁すべくさまざまな形で国や自治体などに対し要求運動をしています。

きょうされん第49次国会請願署名では、以下の請願項目を掲げました。是非、皆様の一筆をお願いします。

1. 障害のある人が安心して生活できるように障害年金を増額してください。
2. 深刻な家族介護依存から脱却するために暮らしの場やヘルパー制度を早急に拡充してください。
3. 障害のある人たちが十分な支援を受けられるよう職員不足の最大要因である低賃金を解消するために、基本報酬をはじめとした公費を大幅に引き上げてください。
4. 障害のある人や子どもが利用する障害福祉や補装具等、生活に不可欠な支援の自己負担を廃止してください。
5. 障害のある人が65歳になっても、自己負担なく、必要な支援を自ら選べるようにしてください。
6. 地域生活の基盤として大切な役割をもつ地域活動支援センターについて、国の責任で実態を調査し、安定した運営ができるように制度を拡充してください。

12月6日、境にこここフェスタで署名活動を実施します！

12月6日（土）、伊勢崎市境町にある境赤レンガ倉庫にて、境地区手をつなぐ育成会と伊勢崎市手をつなぐ育成会の主催による「境にこここフェスタ」が開催されます。

当日は、会場にきょうされんブースを設けて頂き、街頭署名を実施します。山脈の利用者の皆さんも一緒になって署名のお願いをします。

山脈からはキッチンハウスみやまと麦のゆめも出店し、チキンやパン・お菓子などの販売を行います。その他、会場ではジャズのコンサートや百々親友会さんの八木節の演舞、そして、地元グルメのお店なども出店し、ご家族等で1日楽しめるイベントです。

是非、ご来場頂き、署名と募金のご協力をお願いいたします。



キッチンハウスみやまのみんなで上野動物園に行きました！

11月1日、キッチンハウスみやまのレクリエーションで上野動物園に行きました。参加した利用者さんたちは、この日のために工賃の中から毎月、旅行積み立てをしてきました。利用者の方々は、毎日、キッチンハウスみやまでお弁当作りの仕事をしています。職員さんたちは仕事を頑張ることも大切だと、自分で働いて得たお金を使う喜びも感じて欲しいと思いました。

そこで企画されたのがこのレクリエーションです。目的のためにお金を貯めて、それを実現することの大切さをみんなに伝えたいと思いました。

そして、今回は電車と新幹線を使い続けて行きました。普段、利用者さんたちは電車や新幹線を利用することはあまりないのでとても良い経験ができたと思います。

利用者さんたちの声 ★

- ・楽しかった。
- ・自分たちの工賃で行けて良かった。
- ・お土産が自分のお金で買った。
- ・普段、乗れない新幹線と電車に乗れた。



グループホームの中島京子さん、移動支援を利用して上野動物園へ

11月9日（木）、グループホーム「ハーモニーやまなみ」に入居している中島京子さんが、移動支援を利用して上野動物園に行ってきました。普段、中島京子さんは「ファッションセンターしまむら」にバスで通い、毎日休まず勤務しています。中島京子さんは、個別支援計画のモニタリングの際に、「有給休暇を利用して、新幹線に乗って上野動物園に行きたい」と話をしていました。そこで、今回、サビ管さんが個別支援計画に盛り込み、実現することができました。

当日は、移動支援を提供してくれる誠光荘ヘルパーステーション「ピジョン」さんから支援員さんが1名、同行していただきましたので安心して出かけることができました。この経験を生かして、今後も中島京子さんの希望に沿った支援をして行きたいとグループホームの職員は考えています。

★ 中島京子さんの感想 ★

行きも帰りも新幹線で行きました。新幹線は10年ぶりぐらいに乗りました。上野動物園では、前から気になっていたハシビロコウが見られたことが一番良かったです。写真もハシビロコウと一緒に撮りました。パンダはいましたが、クジャクはいませんでした。お昼はカレーライスを食べました。とても美味しかったです。

同行してくれた支援員さんはとても優しく良かったです。今回の旅行は楽しく良い気分転換になりました。また、移動支援を利用して旅行に行きたいと思います。



麦のゆめのクリスマス商品の予約受付が始まりました！

クリスマスのお菓子の定番 シュトローレン



価格 1本（25cm前後）3000円

ご予約のお問い合わせ TEL 0279-25-8866

【クリスマスの豆知識、その1】

シュトローレンってどんなお菓子？

「シュトローレン」は、ドイツの伝統的なクリスマスのお菓子で、バターをたっぷり使った生地ドライフルーツやナッツを練り込み、焼き上げてから粉砂糖をまぶしたパン菓子です。

名前の由来はその形状がトンネルの形に似ていることから、ドイツ語で「坑道」や「地下道」という意味の「stollen」という名前になったそうです。

バターや粉砂糖をたっぷり使うので保存性が高く、洋酒を効かせているため、焼きあがってから時間がたつにつれて味がなじんでいき、味わいに変化していくのも特徴です。

ドイツではクリスマスの4週間前からクリスマスイブまでの「アドベント」の間に、シュトローレンを薄くスライスして少しずつ食べる習慣があるそうです。

ハーモニーやまなみのクリスマスは特別メニュー

毎年、クリスマスにはグループホーム「ハーモニーやまなみ」の入居者のみなさんにケーキとローストチキンをお配りしています。ローストチキンは「キッチンハウスみやま」の人気商品です。

今年は夕食もクリスマスの特別な献立になる予定です。お楽しみに！



※写真はイメージです

【クリスマスのまめ知識 その2】

なぜ、クリスマスにチキンを食べるの？

クリスマスにローストチキンを食べる文化は17世紀のアメリカの開拓時代にまでさかのぼります。

ヨーロッパからアメリカに渡った移民たちが食糧難で冬を越せないと困っていたところ、先住民が七面鳥をはじめとした食材をプレゼントし、移民たちは飢えをしのぐことができました。

これを皮切りに感謝祭が生まれ、クリスマスなど大勢の人が集まる行事でローストしたチキンが食べられるようになりました。

日本では1970年代以降の日本のクリスマスの普及期にケンタッキーフライドチキンの「クリスマスにはケンタッキー」というCMが大きな成功を収め、日本での「クリスマスにチキン」という文化を定着させました。